

授 業 科 目 名	ピアノ・声楽Ⅰ	教 員 名	土田 悦子 本田 奈留美 栗原 美妃 日高 彩子 南園 加奈子	免許・資格 との関係	小学校教諭	必修
					幼稚園教諭	必修
					保育士	
授 業 形 態	演習	担当形態	クラス分け	卒業要件	こども音楽療育士	必修
科 目 番 号	KY0204	配当年次	2年前期		小幼コース	必修
単 位 数	1単位				幼保コース	必修
科 目 目	領域及び保育内容の指導法に関する科目（幼稚園） 教科及び教科の指導法に関する科目（小学校）					
施 行 規 則 に 定 める 科 目 区 分 又 は 事 項 等	領域に関する専門的事項（幼稚園） 教科に関する専門的事項（小学校） ・音楽					
一 般 目 標	ピアノ・声楽の基礎的な演奏技術を修得する。					
到 達 目 標	(1)バイエル教則本前半を能力に応じて修得する。 (2)幼児教育、児童教育で用いる歌のうち、課題曲の弾き歌いが、個人の能力に応じた伴奏形によって演奏できるようにする。 (3)小学校学習指導要領に記載されている共通歌唱教材のうち今学期の課題曲の弾き歌いが、個人の能力に応じた伴奏形で演奏できるようにする。 (4)ピアノ・声楽の弾き歌いに必要な音楽理論について理解する。 (5)ピアノのレッスンを通じて、教師の音楽性に学び、音楽を愛好して演奏できるようにする心情や、音楽に対する豊かな感性を養う。					
授 業 の 概 要	本授業では、ピアノ・声楽の演奏技術の基礎を学び、音楽を使った活動における指導能力の必要性について理解する。そのために、ピアノ・声楽の演奏技術の基礎を学び、それに伴う音楽理論、知識を深め、音楽を愛好する心情、音楽に対する豊かな感性を育成する。具体的には、ひとこま90分のグループレッスンとし、アクティブラーニングとして相互にレッスンを聞き合うことを通じて、バイエル教則本前半の演奏技術、学生の能力に応じた伴奏形による幼児の歌や小学校共通歌唱教材の弾き歌いの技能を習得する。					
ディプロマ・ポリシーとの関係	本演習は、教育学部のディプロマ・ポリシーに掲げる「7.基礎的な音楽力を身につけている。」を育成する科目として配置している。					
授 業 計 画	<p>第1回：学生は、教材、授業方法（一人約15分の個人指導を聴きあうグループレッスン）、流れ、試験方法、評価方法等について理解し、レッスン担当者は、学生のこれまでの音楽経験について取材し、学生のピアノ演奏を聴き、今学期の方針を立てる。（目標(1)）</p> <p>第2回：個人レッスン バイエルは個人の能力に応じた練習曲をレッスンする。子どもの歌は今学期の課題曲を講師の伴奏で歌い、到達目標を把握する。課題曲は子どもの歌は「おはようのうた」「ちょうちょう」「おべんとう」「こいのぼり」とけいのうた」、共通歌唱教材は「春がきた」「春の小川」「うみ」「さくらさくら」「茶つみ」「とんび」とする。（目標(1),(2),(3)）</p> <p>第3回：個人レッスン バイエルは能力に応じた練習曲をレッスンし、音楽用語や理論をグループで共通理解する。子どもの歌は「おはようのうた」、共通歌唱教材は「春がきた」を練習し、各自の能力に応じて伴奏が弾けるようにする。（目標(1),(2),(3)）</p> <p>第4回：個人レッスン バイエルは能力に応じた練習曲をレッスンし、表現についてグループで考え合う。特に、小学校学習指導要領にある、記号や音楽用語について正しく理解して演奏に反映させる。子どもの歌「おはようのうた」共通歌唱教材「春がきた」は各自の能力に応じて弾き歌いできるようにする。</p>					

	<p>(目標(1), (2), (3))</p> <p>第5回：個人レッスン バイエルは練習番号を進めてレッスンする。子どもの歌「おはようのうた」、共通歌唱教材「春がきた」は、各自の能力に応じて弾き歌いについて表現能力を高める。(目標(1), (2), (3), (4))</p> <p>第6回：個人レッスン バイエルは練習番号を進めてレッスンする。各自の能力に応じて、子どもの歌は「ちょうちょう」、共通歌唱教材は「春の小川」の伴奏が弾けるようにする。(目標(2), (3), (4), (5))</p> <p>第7回：個人レッスン バイエルは練習番号を進めてレッスンする。各自の能力に応じて、子どもの歌は「ちょうちょう」、小学校共通歌唱教材は「春の小川」の弾き歌いができるようにする。(目標(2), (3), (4), (5))</p> <p>第8回：個人レッスン バイエルは練習番号を進めてレッスンする。各自の能力に応じて、子どもの歌は「おべんとう」、小学校共通歌唱教材は「うみ」の弾き歌いができるようにする。(目標(2), (3), (4), (5))</p> <p>第9回：個人レッスン バイエルは能力に応じた練習曲を試験曲としレッスンする。子どもの歌の課題曲「おはようのうた」「ちょうちょう」「おべんとう」及び小学校共通歌唱教材「春がきた」「春の小川」「うみ」のいずれも弾き歌いできるようにする。(目標(2), (3), (4), (5))</p> <p>第10回：個人レッスン バイエルは能力に応じた練習曲を試験曲とし、グループ内で試験の予行を実施し、演奏、表現能力の定着を図る。(目標(1), (2), (3), (4), (5))</p> <p>第11回：第1回実技試験 任意のバイエル教則本前半の練習曲を演奏する。担当講師7名で審査する。(目標(1))</p> <p>第12回：個人レッスン バイエルは能力に応じた練習曲を進め、課題曲の子どもの歌「こいのぼり」「とけいのうた」、共通歌唱教材「さくらさくら」「茶つみ」「とんび」の弾き歌いを加え、演奏能力の向上を図る。(目標(4), (5))</p> <p>第13回：個人レッスン バイエルは能力に応じた練習曲を進め、これまでに実施した子どもの歌、共通歌唱教材に加えて『こどもの歌ベストテン』から任意の子どもの歌3曲の伴奏が弾けるようにする。(目標(4), (5))</p> <p>第14回：個人レッスン バイエルは能力に応じた練習曲を進め、子どもの歌、共通歌唱教材の課題曲、任意の子どもの歌3曲のいずれも弾き歌い出来るようにする。(目標(4), (5))</p> <p>第15回：個人レッスン 子どもの歌、共通歌唱教材の課題曲、任意の子どもの歌3曲、いずれも弾き歌いできるようにし、定期試験曲とする。(目標(4), (5))</p> <p>定期試験：第2回目は試験期間中に実施 準備した曲について当日試験官が指定した曲を弾き歌いする。</p>
<p>学生に対する評価</p>	<p>実技試験：第1回バイエル試験45%・第2回弾き歌い試験45% 定期試験：10%</p> <p>なお、レポート・答案等の提出物へのフィードバックについては、以下の方法等による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コメントを記載して返却する。 ・授業またはオフィスアワーに、口頭で行う。 ・答案例を配布する。
<p>時間外の学習について</p>	<p>(事前・事後学習として週2時間以上行うこと。)</p> <p>事前学習：毎回、指導者より出された課題をしっかりと練習し、レッスンに備える。 事後学習：講義内容について自分なりに整理し直し、次回授業までに何を練習するかを確認する。</p>
<p>テキスト</p>	<p>『バイエルピアノ教則本』(各社)</p>

	『こどもの歌ベストテン』（ドレミ楽譜出版社） 『新版 教員養成課程 小学校音楽科教育法』（教育芸術社）
参 考 書 ・ 参 考 資 料 等	『幼稚園教育要領（平成29年告示）』 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年告示）』 『保育所保育指針（平成29年告示）』 個人の能力に応じた楽曲
担 当 者 か ら の メ ッ セ ー ジ	特になし
オ フ ィ ス ア ワ ー	土田・本田・栗原・浜月・南園：授業の前後の時間（メール等でアポイントを取ること。）